

県民の皆さんとめざす姿

豊かで健全な食生活への志向が広がる中で、多様化する期待に応える新たな価値が農林水産業や食品関連産業等に関わるさまざまな主体から積極的に提案され、地域資源の特徴を生かした競争力ある製品等が提供されることにより、県民の皆さんの豊かな暮らしや「もうかる農林水産業」につながっています。

現状と課題

- 経済のグローバル化や長期化するデフレ、国内市場規模の縮小など、農林水産業や食品関連、木材産業等を取り巻く厳しい経営環境に対応していくため、農林水産物をはじめとする地域資源の高付加価値化による商品開発や市場開拓等の取組が求められています。
- 食育や地産地消運動、三重ブランド等による地域資源の高付加価値化の支援や情報発信の強化等を通じて農林水産業者や食品産業事業者等による成功事例も生まれてきています。今後、「もうかる農林水産業」に向けさらなる取組拡大を図っていくためには、事業者連携の促進や成功ノウハウの共有、中小事業者が多く大ロット供給が難しい等本県の実情をふまえた情報発信力の強化が課題です。
- 魅力ある県産品等が数多く生まれるための風土づくりや、農林水産業の新しい価値創出とその「見える化」による県民の皆さんと農林水産業の支え合う関係づくりなど、「もうかる農林水産業」につながる取組の強化も必要です。

変革の視点

国内外に誇れる県産品を積極的に売り込む営業活動の強化に対応して、新商品が活発に生まれる開発環境を整えるとともに、それを支える農林水産業のものづくり風土を形成し、農林水産業のイノベーションを促すことにより、「もうかる農林水産業」への発展をめざします。

平成 27 年度末での到達目標

本県がこれまで取り組んできた食育や地産地消運動、三重ブランドをはじめとする取組の戦略的な発展と商品等の研究開発を強化する中で、地域の資源や特徴を生かして新たなビジネスに取り組む農林水産業者や事業者、地域が増加するとともに、新たな市場の開拓や環境など社会の成熟化に伴うさまざまな期待に対応した取組が増加しています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
県産品に対する消費者満足度	25.2%	40.0%	県産の農林水産物等に対して、満足していると回答した県内消費者の割合

平成 24 年度の取組方向

- 県産品が広く認知され、競争力を強化できるよう、食に関わる先端技術や新事業展開などの面でサポートできる産学官ネットワーク等による「みえフードイノベーション」を創出する中で、多様なニーズに対応する商品の開発や三重ブランドをはじめとする県産品の認知度向上に取り組めます。
- 農畜産業、林業、水産業に係る技術開発・移転を通じて、農林水産業者、食品産業や木材産業事業者等による県民の皆さんの多様化する期待に応える新たな商品やサービスの提供に向けた取組を支援するとともに、森林の効率的な育成と森林資源の利用拡大、海の再生力の活用等による海洋環境の再生などを促進します。
- 企業等との連携により、食育や環境貢献、障がい者雇用など新たな取組や価値の「見える化」を進めるなど、消費者と農林水産業との支え合う関係づくりに取り組めます。

## 主な事業

- ① (新) みえフードイノベーション運営事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31101 新たなビジネス創出に向けた基盤づくり】  
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 4 農業振興費)  
当初予算額：(23) ー 千円 → (24) 12,000千円  
事業概要：農林水産資源を活用して、生産者や食品産業事業者、大学など産学官のさまざまな主体の知恵や技術を結集し融合することにより、地域がかかえる課題を解決し、新たな商品やサービスを革新的に生み出す仕組みづくりを推進します。(ネットワークの運営、研修会の開催等プロジェクトの創出支援等)
- ② (一部新) 三重県産品営業拡大支援事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31101 新たなビジネス創出に向けた基盤づくり】  
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産業振興費)  
当初予算額：(23) 54,179千円 → (24) 34,828千円  
事業概要：三重県を応援する事業者等との連携により、三重県産品の情報を面的に捉えて発信していくとともに、県内事業者の販路拡大をめざす取組を支援します。また、海外市場のニーズ調査により、県産品の輸出戦略を構築していきます。(バイヤー等の招へい、大規模店舗等と連携した情報発信等)
- ③ (一部新) 産学官連携「みえのリーディング農産商品等」開発事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31102 農畜産技術の研究開発と移転】  
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費)  
(第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 3 畜産業試験研究費)  
当初予算額：(23) 7,126千円 → (24) 12,339千円  
事業概要：産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、消費者のニーズに対応した農産商品や農的サービスの開発を行うとともに、農業者等への開発技術等の移転・普及を図ります。(植物工場を活用した新しい野菜生産システムの開発等7課題)
- ④ (新) 森林被害防除のための調査研究事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31103 林業・森林づくりを支える技術の開発と移転】  
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 10 林業試験研究費)  
当初予算額：(23) ー 千円 → (24) 1,500千円  
事業概要：ニホンジカによる森林の被害について、生息密度だけでなく、生態や生息環境も含めて調査し、被害が発生しやすい環境条件を明確にするとともに、ハザードマップを作成して被害防除の取り組みを支援します。(ニホンジカ行動圏調査、ハザードマップの作成 1箇所予定)
- ⑤ (一部新) 産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業 (一部) (農林水産部)  
【基本事業名：31104 水産技術の研究開発と移転】  
(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 1 水産業振興費)  
当初予算額：(23) 6,000千円 → (24) 4,100千円  
事業概要：水産研究所を核に、生産者や加工流通業者、大学などの研究機関が連携し、県内水産物の生産・加工・利用に関するイノベーションの持続的創出のための環境づくりを進めるとともに、食材や分野ごとの地域水産技術クラスターを形成し、異業種連携等による水産物の付加価値向上を図ります。(中核水産研究クラスター会議 1回開催予定、コーディネートおよび技術的支援 5課題予定)
- ⑥ 新しい真珠養殖技術実証化事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31104 水産技術の研究開発と移転】  
(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 10 水産業試験研究費)  
当初予算額：(23) 2,200千円 → (24) 2,244千円  
事業概要：県産真珠の品質を格段に向上させるため、実体色(白さ)、光沢・干渉色、シミ・傷の3点において優れた真珠を効率的に生産する技術の開発を行います。(研究開発 3課題予定)
- ⑦ 農業環境価値創出事業 (農林水産部)  
【基本事業名：31105 県民の皆さんと農林水産業の支え合う関係づくり】  
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費)  
当初予算額：(23) 22,619千円 → (24) 16,154千円  
事業概要：低炭素化農業および生物多様性保全をめざした営農活動を支援するとともに、環境貢献度の高い営農技術体系の構築を通じて農産物の高付加価値化につながるビジネスモデルの提示に取り組みます。(堆肥の効率的施用技術、IPM総合管理技術の確立、環境保全型農業直接支払交付金の交付等)